

鶏肉情勢

令和元年6月3日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容	実績																																																																																									
生	(1) 生産・処理動向調査(一社)日本食鳥協会5月下旬実施)によると、4月の推計実績は、処理羽数59,966千羽(前年比104.0%)・処理重量180.1千ト(同104.0%)と前年をともに大きく上回った。前年より稼働日が多かったこともあるが、全国的に気温が平年より高かったことや育成後半の伸びが従前通りに回復したこと等が要因と思われる。特に主要産地である南九州地区が処理羽数(同104.8%)処理重量(同104.5%)ともに前年を大きく上回った。なお、生鳥処分は廃棄合計3.64%(前年差△0.03%)と減少した。 (2) 5月～7月で、5月については北海道・東北地区の増体も好調に推移したとみられ(同101.1%)、全体でも計画が上方修正される可能性があると考えられる。6月については、処理羽数が前年並み(同100.0%)も重量が前年割れ(同99.2%)となっており、供給が減少する計画となっている。このところ需要が緩み、多少在庫が過剰気味であるうえ例年梅雨時期は需要が弱まるため、供給減は在庫の抑制にはつながると期待されるが、7月は再び羽数(同103.3%)・重量(103.1%)ともに増加する計画となっており、消費動向次第で再び供給過多が懸念される。	生産状況 単位:千羽、千トン、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H31年4月推計実績</th> <th colspan="2">R元年5月計画</th> <th colspan="2">R元年6月計画</th> <th colspan="2">R元年7月計画</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>数量</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入雛羽数</td> <td>62,427</td> <td>106.1%</td> <td>61,271</td> <td>101.6%</td> <td>57,572</td> <td>98.5%</td> <td>60,606</td> <td>101.4%</td> </tr> <tr> <td>処理羽数</td> <td>59,966</td> <td>104.0%</td> <td>59,411</td> <td>100.3%</td> <td>57,118</td> <td>100.0%</td> <td>57,409</td> <td>103.3%</td> </tr> <tr> <td>処理重量</td> <td>180.1</td> <td>104.0%</td> <td>178.1</td> <td>100.4%</td> <td>170.0</td> <td>99.2%</td> <td>168.2</td> <td>103.1%</td> </tr> </tbody> </table> ※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」		H31年4月推計実績		R元年5月計画		R元年6月計画		R元年7月計画		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	入雛羽数	62,427	106.1%	61,271	101.6%	57,572	98.5%	60,606	101.4%	処理羽数	59,966	104.0%	59,411	100.3%	57,118	100.0%	57,409	103.3%	処理重量	180.1	104.0%	178.1	100.4%	170.0	99.2%	168.2	103.1%																																													
				H31年4月推計実績		R元年5月計画		R元年6月計画		R元年7月計画																																																																																	
数量	前年比		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比																																																																																			
入雛羽数	62,427	106.1%	61,271	101.6%	57,572	98.5%	60,606	101.4%																																																																																			
処理羽数	59,966	104.0%	59,411	100.3%	57,118	100.0%	57,409	103.3%																																																																																			
処理重量	180.1	104.0%	178.1	100.4%	170.0	99.2%	168.2	103.1%																																																																																			
産	(1) 財務省が5月30日公表した貿易統計によると、4月の鶏肉(原料肉)輸入量は47.3千ト(前年比95.4%)で、日本食肉輸出入協会の予測(42.0千ト)を大きく上回り、通関の変更等があった可能性がある。同協会公表によると5月43.7千ト(同92.7%)・6月43.2千ト(同98.4%)と予測されており、「輸入品の国内の動きは良いとは言えない状況。ASF(アフリカ豚コレラ)発生に伴い、中国では豚肉に代わる食肉として鶏肉の需要が高まってきており、ブラジル産はブラジル国内の需要増加も相まって、国内向けの相場は次第に上がるものと見込まれる。タイ産に関しても中国向けの生産が増えてきているなかで価格が上昇しており、日本のタイ産鶏肉への需要そのものが縮小傾向に向かうと考えられる。」とコメントしている。調整品が引き続き潤沢に入ってきているなかであるが、輸入品の価格上昇が国内相場にどの様に影響するか注視が必要と思われる。 (2) 鶏肉調整品の4月輸入量は44.8千ト(前年比107.7%)と、前月より2.3千ト増加した。中国産が17.0千トで前年比94.4%と減少したものの前月に比べ0.87千ト増加、タイ産も27.2千ト(同117.0%)となった。1-4月累計でも前年比105.5%と量販店の惣菜向けやコンビニ向けの加工品の需要増加に伴い、輸入量も増加傾向となっている。	輸入動向 単位:千トン、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">鶏肉</th> <th colspan="3">調製品</th> <th colspan="3">合計</th> <th colspan="2">比率</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>鶏肉</th> <th>調製品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H31年1月</td> <td>42.0</td> <td>48.3</td> <td>86.9</td> <td>42.4</td> <td>41.8</td> <td>101.3</td> <td>84.4</td> <td>90.1</td> <td>93.6</td> <td>49.8</td> <td>50.2</td> </tr> <tr> <td>H31年2月</td> <td>41.5</td> <td>46.7</td> <td>88.8</td> <td>35.4</td> <td>37.0</td> <td>95.6</td> <td>76.9</td> <td>83.7</td> <td>91.8</td> <td>53.9</td> <td>46.1</td> </tr> <tr> <td>H31年3月</td> <td>39.6</td> <td>43.4</td> <td>91.1</td> <td>42.5</td> <td>36.1</td> <td>118.0</td> <td>82.1</td> <td>79.5</td> <td>103.3</td> <td>48.2</td> <td>51.8</td> </tr> <tr> <td>H31年4月</td> <td>47.3</td> <td>49.6</td> <td>95.4</td> <td>44.8</td> <td>41.6</td> <td>107.7</td> <td>92.1</td> <td>91.2</td> <td>101.0</td> <td>51.3</td> <td>48.7</td> </tr> <tr> <td>H31年累計</td> <td>170.3</td> <td>188.0</td> <td>90.6</td> <td>165.2</td> <td>156.5</td> <td>105.5</td> <td>335.4</td> <td>344.5</td> <td>97.4</td> <td>50.8</td> <td>49.2</td> </tr> </tbody> </table> ※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞	品名	鶏肉			調製品			合計			比率		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品	H31年1月	42.0	48.3	86.9	42.4	41.8	101.3	84.4	90.1	93.6	49.8	50.2	H31年2月	41.5	46.7	88.8	35.4	37.0	95.6	76.9	83.7	91.8	53.9	46.1	H31年3月	39.6	43.4	91.1	42.5	36.1	118.0	82.1	79.5	103.3	48.2	51.8	H31年4月	47.3	49.6	95.4	44.8	41.6	107.7	92.1	91.2	101.0	51.3	48.7	H31年累計	170.3	188.0	90.6	165.2	156.5	105.5	335.4	344.5	97.4	50.8	49.2						
品名	鶏肉			調製品			合計			比率																																																																																	
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品																																																																																
H31年1月	42.0	48.3	86.9	42.4	41.8	101.3	84.4	90.1	93.6	49.8	50.2																																																																																
H31年2月	41.5	46.7	88.8	35.4	37.0	95.6	76.9	83.7	91.8	53.9	46.1																																																																																
H31年3月	39.6	43.4	91.1	42.5	36.1	118.0	82.1	79.5	103.3	48.2	51.8																																																																																
H31年4月	47.3	49.6	95.4	44.8	41.6	107.7	92.1	91.2	101.0	51.3	48.7																																																																																
H31年累計	170.3	188.0	90.6	165.2	156.5	105.5	335.4	344.5	97.4	50.8	49.2																																																																																
需	(1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、3月は、全国一世帯当たりの3畜種生鮮肉の消費(購入)数量は4,175g(前年比102.0%)と前年は上回ったが金額は5,963円(同99.7%)と6か月連続で下回った。牛肉は安価な輸入牛による焼き肉・ステーキ用が堅調で数量は上回ったが金額が下回った。豚肉・鶏肉はともに相場安であったものの金額は昨年を上回った。特に鶏肉は数量1,428g(同106.2%)・金額1,332円(同100.9%)となり、ヘルシー・低価格志向や特売効果等もあり、購買数量が大きく伸びた関係から金額は前年並みとなった。	消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="3">数量</th> <th colspan="3">金額</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H31年1月</td> <td>1,429</td> <td>1,382</td> <td>103.4</td> <td>1,348</td> <td>1,389</td> <td>97.0</td> </tr> <tr> <td>H31年2月</td> <td>1,397</td> <td>1,342</td> <td>104.1</td> <td>1,298</td> <td>1,306</td> <td>99.4</td> </tr> <tr> <td>H31年3月</td> <td>1,428</td> <td>1,345</td> <td>106.2</td> <td>1,332</td> <td>1,320</td> <td>100.9</td> </tr> <tr> <td>H31年平均</td> <td>1,418</td> <td>1,356</td> <td>104.6</td> <td>1,326</td> <td>1,338</td> <td>99.1</td> </tr> </tbody> </table> ※参考資料:総務省統計局HP	履歴	数量			金額			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	H31年1月	1,429	1,382	103.4	1,348	1,389	97.0	H31年2月	1,397	1,342	104.1	1,298	1,306	99.4	H31年3月	1,428	1,345	106.2	1,332	1,320	100.9	H31年平均	1,418	1,356	104.6	1,326	1,338	99.1																																																
	履歴	数量			金額																																																																																						
		当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																				
H31年1月	1,429	1,382	103.4	1,348	1,389	97.0																																																																																					
H31年2月	1,397	1,342	104.1	1,298	1,306	99.4																																																																																					
H31年3月	1,428	1,345	106.2	1,332	1,320	100.9																																																																																					
H31年平均	1,418	1,356	104.6	1,326	1,338	99.1																																																																																					
(1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、4月の畜産部門の売上高は1,004億円で全店ベースで前年並み(100.2%)であったが、既存店ベースでは98.9%と減少した。「気温の影響か好不調動向に店舗での差が大きく全体的な傾向はみられなかった。月末のGW時期は和牛などの動きがよかった一方で、それ以外の時期は輸入牛の動きが良かった。ステーキ用の赤身肉は好調だが、気温により焼肉用は好不調まちまちとなった。豚肉は相場がやや高騰しているが、気温が低下した地域では国産、輸入豚ともやや不調とする店舗が多かった。加工肉は価格競争の激しさを指摘するコメントもみられた。」と報告されている。	相場(年別・暦年) 単位:円 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="2">もも肉</th> <th colspan="2">むね肉</th> <th rowspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>金額</th> <th>数量</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25年</td> <td>583</td> <td>246</td> <td>246</td> <td>829</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H26年</td> <td>626</td> <td>294</td> <td>294</td> <td>920</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H27年</td> <td>639</td> <td>336</td> <td>336</td> <td>975</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H28年</td> <td>621</td> <td>255</td> <td>255</td> <td>876</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>626</td> <td>315</td> <td>315</td> <td>941</td> <td></td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>595</td> <td>282</td> <td>282</td> <td>877</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	履歴	もも肉		むね肉		計	数量	金額	数量	金額	H25年	583	246	246	829		H26年	626	294	294	920		H27年	639	336	336	975		H28年	621	255	255	876		H29年	626	315	315	941		H30年	595	282	282	877																																													
履歴	もも肉		むね肉		計																																																																																						
	数量	金額	数量	金額																																																																																							
H25年	583	246	246	829																																																																																							
H26年	626	294	294	920																																																																																							
H27年	639	336	336	975																																																																																							
H28年	621	255	255	876																																																																																							
H29年	626	315	315	941																																																																																							
H30年	595	282	282	877																																																																																							
加工筋	(1) 日本ハム・ソーセイジ工業協同組合調べによる3月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比98.8%の4.47千ト。うち国内物は同99.2%の3.72千トと前年をやや下回り、輸入物も同96.7%の0.75千トと報告された。1-3月累計では同102%と前年を上回っている。輸入物の比率は16.9%と低いもののサラダチキン向け等の需要が堅調で着実に伸びてきた。4月以降も需要増加が期待でき、国産むね肉価格が比較的低位で安定していることや、国産志向や味の面から国産むね肉での製造も増加する傾向にある。																																																																																										
在	(1) 推計期末在庫は国産27.65千ト(前年比97.3%・前月差△1.19千ト)、輸入品124.67千ト(同84.2%・同△5.36千ト)と合計で152.32千ト(同86.3%・同△6.55千ト)となった。生産量が5.8千ト増加したものの、輸入量が1.9千ト減少し、国産品の出回りが生産量を上回ったため、国産品の在庫が減少した。輸入品は出回りが1.19千ト減少の44.92千トとなったため、前年比でみると84.2%と大幅減少となった。	在庫状況 単位:千トン、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">履歴</th> <th colspan="3">国産</th> <th colspan="3">輸入品</th> <th colspan="3">合計</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30年12月</td> <td>26.1</td> <td>26.8</td> <td>97.1</td> <td>133.3</td> <td>140.7</td> <td>94.7</td> <td>159.4</td> <td>167.6</td> <td>95.1</td> </tr> <tr> <td>H31年1月</td> <td>27.5</td> <td>28.2</td> <td>97.4</td> <td>134.7</td> <td>150.7</td> <td>89.4</td> <td>162.1</td> <td>178.9</td> <td>90.6</td> </tr> <tr> <td>H31年2月</td> <td>28.8</td> <td>27.0</td> <td>107.0</td> <td>130.0</td> <td>160.0</td> <td>81.3</td> <td>158.9</td> <td>187.0</td> <td>85.0</td> </tr> <tr> <td>H31年3月</td> <td>27.7</td> <td>28.4</td> <td>97.3</td> <td>124.7</td> <td>148.1</td> <td>84.2</td> <td>152.3</td> <td>176.6</td> <td>86.3</td> </tr> </tbody> </table> ※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構	履歴	国産			輸入品			合計			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	H30年12月	26.1	26.8	97.1	133.3	140.7	94.7	159.4	167.6	95.1	H31年1月	27.5	28.2	97.4	134.7	150.7	89.4	162.1	178.9	90.6	H31年2月	28.8	27.0	107.0	130.0	160.0	81.3	158.9	187.0	85.0	H31年3月	27.7	28.4	97.3	124.7	148.1	84.2	152.3	176.6	86.3																														
	履歴	国産			輸入品			合計																																																																																			
当年		前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																		
H30年12月	26.1	26.8	97.1	133.3	140.7	94.7	159.4	167.6	95.1																																																																																		
H31年1月	27.5	28.2	97.4	134.7	150.7	89.4	162.1	178.9	90.6																																																																																		
H31年2月	28.8	27.0	107.0	130.0	160.0	81.3	158.9	187.0	85.0																																																																																		
H31年3月	27.7	28.4	97.3	124.7	148.1	84.2	152.3	176.6	86.3																																																																																		
見通し	(1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(5月29日公表)では、4月は国内生産量が前月比で1.6千ト減少するものの輸入量が前月比で6千ト増加となっている。3月に比べ出回りの減少が見込まれるため、期末在庫は約153.1千ト程度と在庫は若干の増加見込みとなっている。 (2) なお、5月は前月比で生産量が1.0千ト増加、輸入量もブラジル中心に1.7千ト増加し、出回りが5.9千ト増加することから期末在庫は国産・輸入品合計で2.6千ト減少の150.5千ト(前年比87.0%)の予測。6月は生産量が2.3千ト減少、輸入量もブラジル中心に0.5千ト減少、出回りが0.8千ト増加することから、在庫は6.1千ト減少の144.4千ト(前年比87.0%)と下回る予測となっている。																																																																																										
相	(1) 5月の平均相場は、もも肉583円/kg(前月比18円下げ)・むね肉227円/kg(同5円下げ)、正肉合計で810円/kgと前月比23円下げで前年比でも57円の下げとなった。もも肉は大型連休明け595円で始まり、多少の反発はあったものの下げ基調が続き月末570円となった。むね肉は、加工向けには一定需要はあるものの、量販店等の惣菜向けや特売需要等が盛り上らず月初231円・月末227円とはほぼ保合い圏内で推移した。	相場(月別) 単位:円、% <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">品名</th> <th colspan="3">もも肉</th> <th colspan="3">むね肉</th> <th colspan="3">正肉合計</th> </tr> <tr> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> <th>当年</th> <th>前年</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H31年2月</td> <td>650</td> <td>663</td> <td>98.0</td> <td>256</td> <td>304</td> <td>84.2</td> <td>906</td> <td>967</td> <td>93.7</td> </tr> <tr> <td>H31年3月</td> <td>628</td> <td>637</td> <td>98.6</td> <td>238</td> <td>305</td> <td>78.0</td> <td>866</td> <td>942</td> <td>91.9</td> </tr> <tr> <td>H31年4月</td> <td>601</td> <td>608</td> <td>98.8</td> <td>232</td> <td>295</td> <td>78.6</td> <td>833</td> <td>903</td> <td>92.2</td> </tr> <tr> <td>R元年5月</td> <td>583</td> <td>585</td> <td>99.7</td> <td>227</td> <td>282</td> <td>80.5</td> <td>810</td> <td>867</td> <td>93.4</td> </tr> <tr> <td>R元年6月</td> <td>(565)</td> <td>564</td> <td>100.2</td> <td>(230)</td> <td>272</td> <td>84.6</td> <td>(795)</td> <td>836</td> <td>95.1</td> </tr> <tr> <td>R元年7月</td> <td>(560)</td> <td>548</td> <td>102.2</td> <td>(230)</td> <td>265</td> <td>86.8</td> <td>(790)</td> <td>813</td> <td>97.2</td> </tr> <tr> <td>H31年平均</td> <td>622</td> <td>633</td> <td>98.3</td> <td>245</td> <td>300</td> <td>81.7</td> <td>867</td> <td>933</td> <td>92.9</td> </tr> </tbody> </table> ※()は見通し ※1-5月平均	品名	もも肉			むね肉			正肉合計			当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	H31年2月	650	663	98.0	256	304	84.2	906	967	93.7	H31年3月	628	637	98.6	238	305	78.0	866	942	91.9	H31年4月	601	608	98.8	232	295	78.6	833	903	92.2	R元年5月	583	585	99.7	227	282	80.5	810	867	93.4	R元年6月	(565)	564	100.2	(230)	272	84.6	(795)	836	95.1	R元年7月	(560)	548	102.2	(230)	265	86.8	(790)	813	97.2	H31年平均	622	633	98.3	245	300	81.7	867	933	92.9
	品名	もも肉			むね肉			正肉合計																																																																																			
当年		前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比																																																																																		
H31年2月	650	663	98.0	256	304	84.2	906	967	93.7																																																																																		
H31年3月	628	637	98.6	238	305	78.0	866	942	91.9																																																																																		
H31年4月	601	608	98.8	232	295	78.6	833	903	92.2																																																																																		
R元年5月	583	585	99.7	227	282	80.5	810	867	93.4																																																																																		
R元年6月	(565)	564	100.2	(230)	272	84.6	(795)	836	95.1																																																																																		
R元年7月	(560)	548	102.2	(230)	265	86.8	(790)	813	97.2																																																																																		
H31年平均	622	633	98.3	245	300	81.7	867	933	92.9																																																																																		
場	(1) 本格的な梅雨の到来時期となり、気象庁の1カ月予想では、気温は平年並みややや高く、降水量は平年より少ないと予測されている。祝日がなく、イベント等も少ないため消費の伸びも期待できないと思われる。もも肉は下げ基調は変わらず月平均で565円と予測。むね肉については、加工やサラダ向け等の需要もあることから前月から引き続き保合い圏内の230円と予測する。																																																																																										